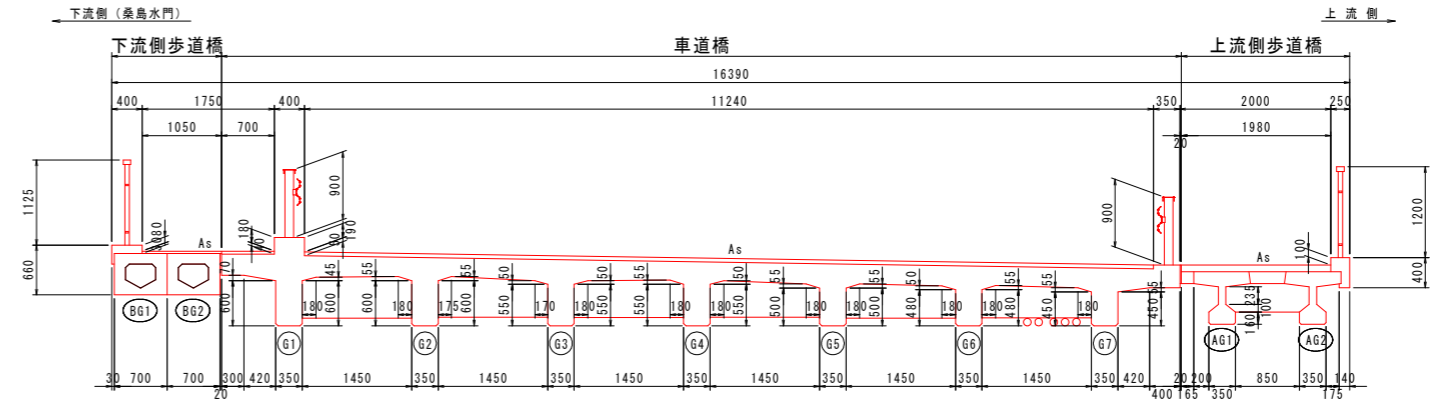
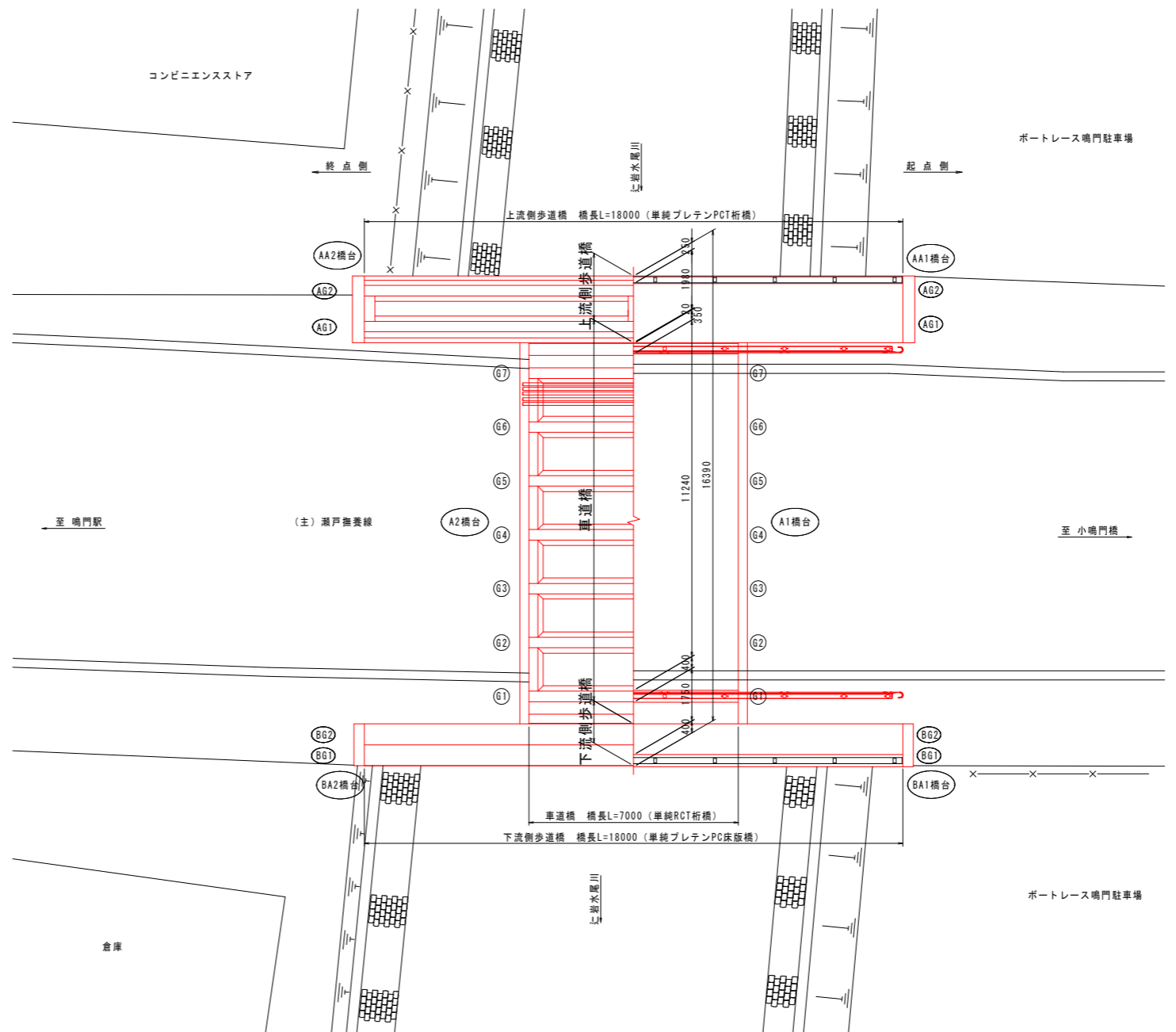


現橋一般図

断面図 S=1:50

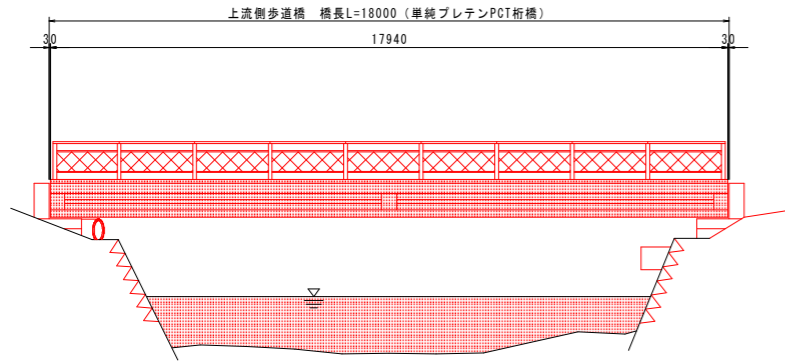


平面図 S=1:100

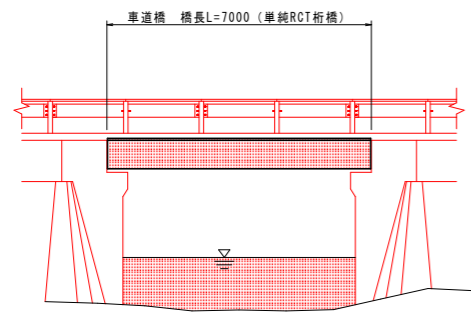


現橋諸元		※橋梁台帳より抜粋
橋梁名	桑島橋	
路線名	(主) 瀬戸無養線	
所在地	鳴門市撫養町大桑島字澤岩浜	
施工年度	車道橋	1958年(昭和33年)
	上流側歩道橋	不明
	下流側歩道橋	不明
等級	車道橋	不明
	上流側歩道橋	不明
	下流側歩道橋	不明
設計荷重	車道橋	不明
	上流側歩道橋	群集荷重
	下流側歩道橋	群集荷重
橋長	車道橋	7.000m
	上流側歩道橋	18.000m
	下流側歩道橋	18.000m
上部工形式	車道橋	単純RCT桁橋
	上流側歩道橋	単純プレテンPCT桁橋
	下流側歩道橋	単純プレテンPC床版橋
下部工形式	車道橋	逆T式橋台
	上流側歩道橋	重力式橋台
	下流側歩道橋	重力式橋台
有効幅員	車道部	車道11.24m
	上流側歩道部	歩道2.00m
	下流側歩道部	歩道1.75m
交差物件	濔用河川 七瀬水尾川	

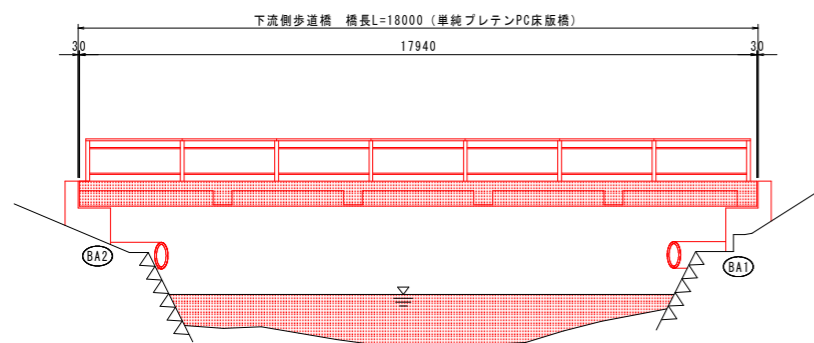
側面図 S=1:100
(上流側歩道橋)



側面図 S=1:100
(車道橋)



側面図 S=1:100
(下流側歩道橋)



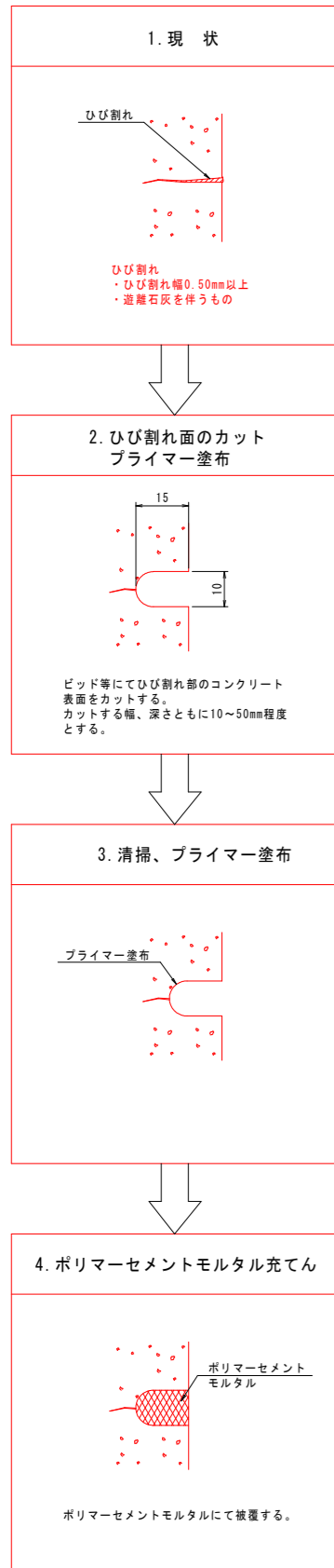
※本図の地形線および下部・基礎工形状は既存資料等を基に作図している。

実施設計図面		(桑島橋)
工事名	R3徳土 瀬戸無養線 鳴・撫養大桑島 橋梁補修工事	
路線名等	瀬戸無養線	
工事箇所	鳴門市撫養町大桑島(桑島橋)	
図面名	橋梁一般図	
縮尺	図示	図面番号 1/14
会社名		
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)	

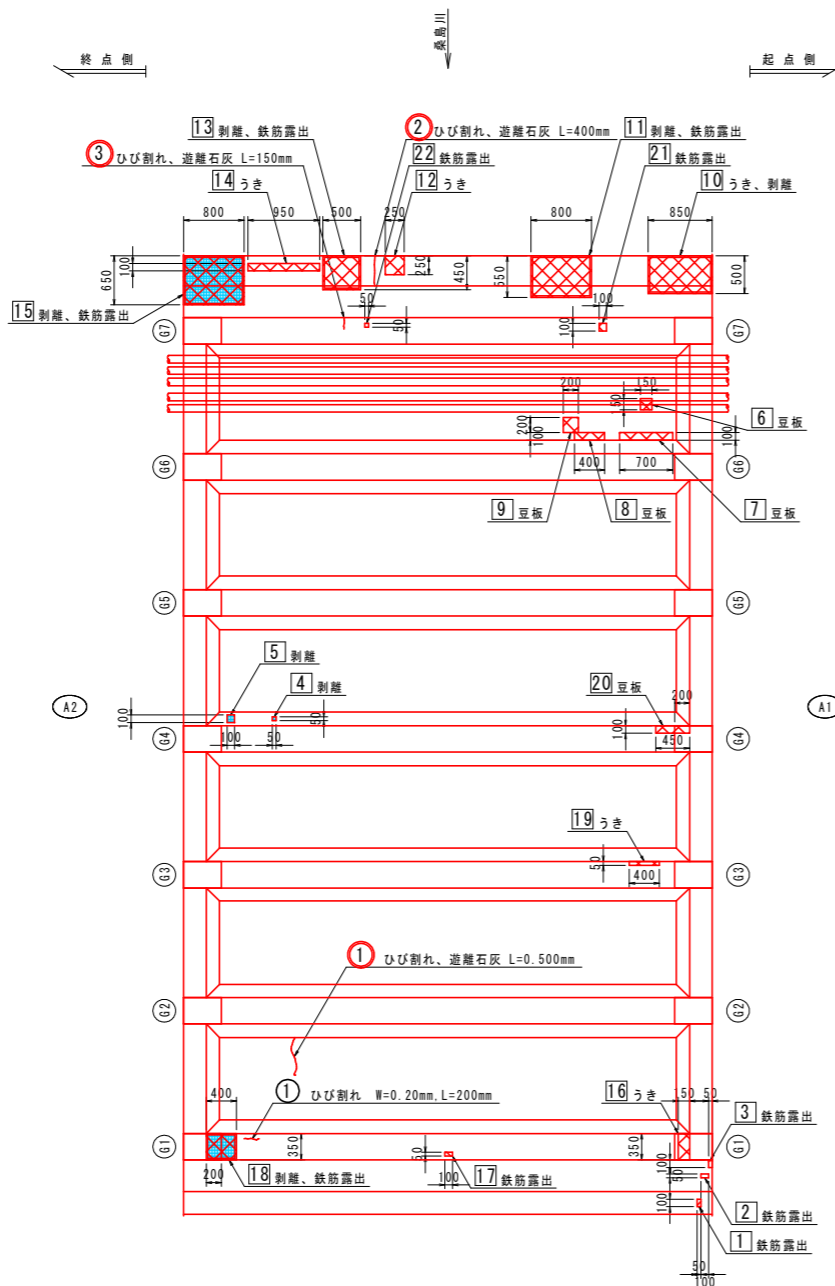
車道橋 上部工補修図(1/4)

(床版・主桁下面)

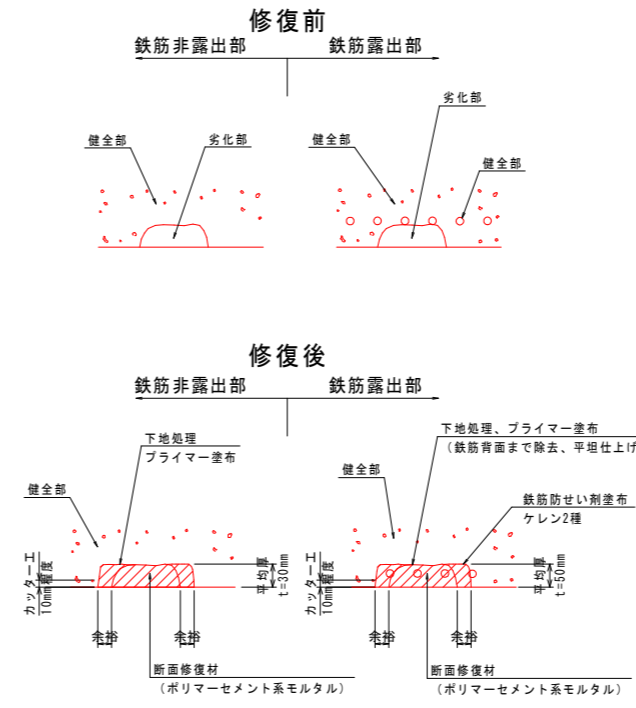
充てん工法手順図



平面図 S=1:50



断面修復工 詳細図 S=1:5



断面修復工数量表(左官工法) (床版下面)

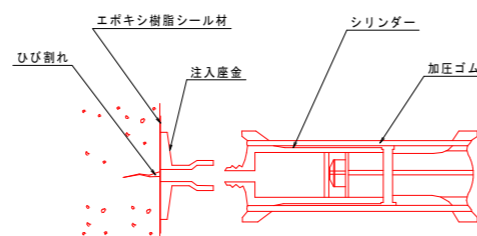
番号	B x H	単位	鉄筋露出部		備考
			数量	数量	
床版					
1	50x100	m2	0.005	-	鉄筋露出
2	100x50	m2	0.005	-	鉄筋露出
3	50x100	m2	0.005	-	鉄筋露出
4	50x50	m2	-	0.003	剥離
5	100x100	m2	-	0.010	剥離
6	150x150	m2	-	0.023	豆板
7	700x100	m2	-	0.070	豆板
8	400x100	m2	-	0.040	豆板
9	200x200	m2	-	0.040	豆板
10	850x500	m2	-	0.425	うき、剥離
11	800x550	m2	0.440	-	剥離、鉄筋露出
12	250x250	m2	-	0.063	うき
13	500x450	m2	0.225	-	剥離、鉄筋露出
14	950x100	m2	-	0.095	うき
15	800x650	m2	0.520	-	剥離、鉄筋露出
合計(面積)		m2	1.200	0.769	
合計(体積)		m3	0.060	0.023	
			t=50mm	※t=50mm	※鉄筋はつり出しを基本とする

断面修復工数量表(左官工法) (主桁下面)

番号	B x H	単位	鉄筋露出部		備考	控除面積
			数量	数量		
G1主桁						
16	150x350	m2	-	0.000	うき	全面積控除
17	100x50	m2	0.005	-	鉄筋露出	-
18	400x350	m2	0.070	-	剥離、鉄筋露出	0.070
G3主桁						
19	400x50	m2	-	0.020	うき	-
G4主桁						
20	450x100	m2	-	0.025	豆板	0.020
G7主桁						
21	100x100	m2	0.010	-	鉄筋露出	-
22	50x50	m2	0.003	-	鉄筋露出	-
合計(面積)		m2	0.088	0.045		
合計(体積)		m3	0.004	0.001		
			t=50mm	※t=50mm	※鉄筋はつり出しを基本とする	

(注) 支取替え工の影響範囲となる箇所は、影響面積を控除している。

ひび割れ注入工詳細図



ひび割れ注入工数量表

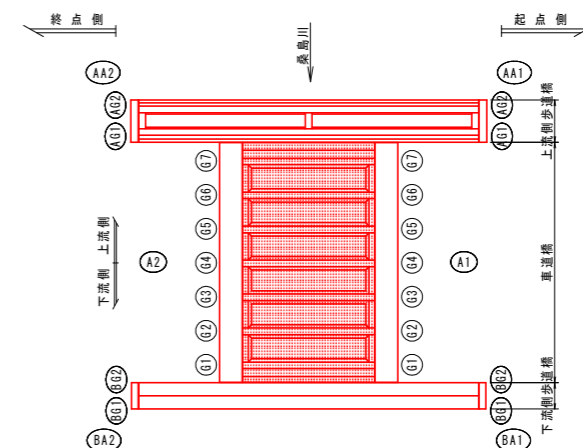
番号	単位	数量	
		0.2mm以上 ~0.5mm未満	ひび割れ幅 (mm)
G1主桁			
1	m	0.20	0.20
合計	m	0.20	

ひび割れ注入工 単位数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要
シーラント	エポキシ樹脂系	kg	1.02	
注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.06	ひび割れ幅: 0.20mm 深さ50mmに仮定
注入器具	40cm間隔	個	25.0	

注)
・ひび割れ注入工の施工範囲は、施工前に詳細計測を実施し決定すること。
・ひび割れ注入工の注入深さは、現地目視点検により50mmと仮定している。
・詳細な注入深さは現地計測により決定すること。
・シーラントの断面は、幅30mmX厚さ2mmと仮定している。
・シーラントの単位重量はW=1,700kg/m3と仮定している。
・シーラントはロス率を考慮していない数量である。
・注入剤はロス率を10%と仮定している。

位置図 S=1:200

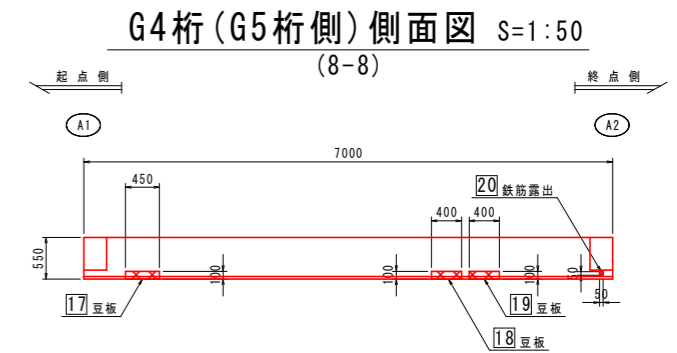
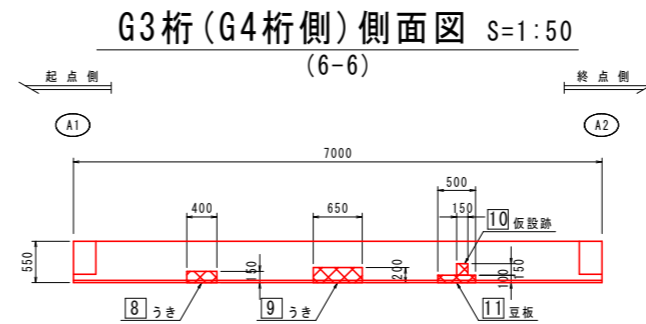
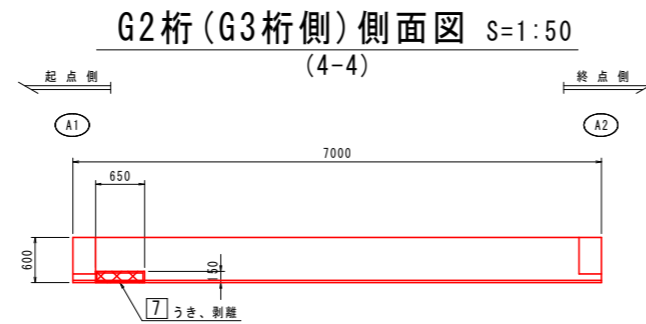
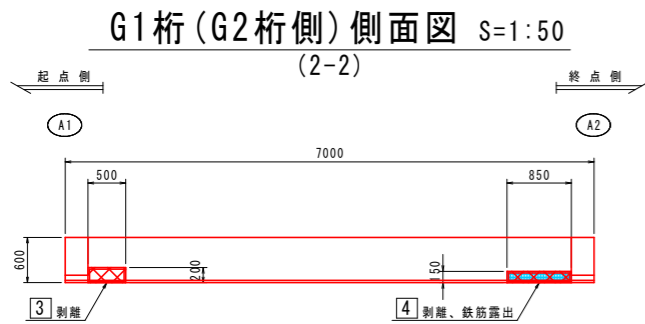
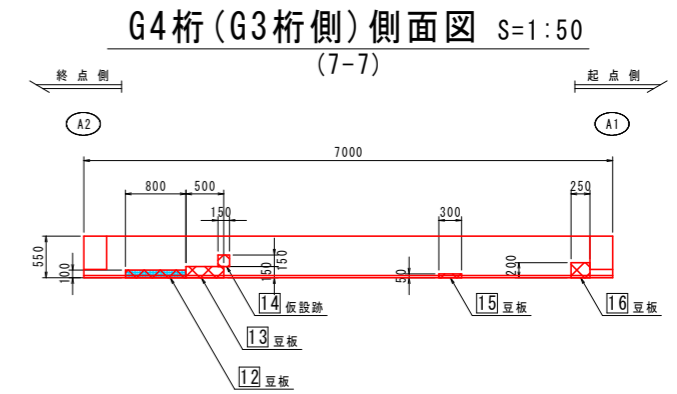
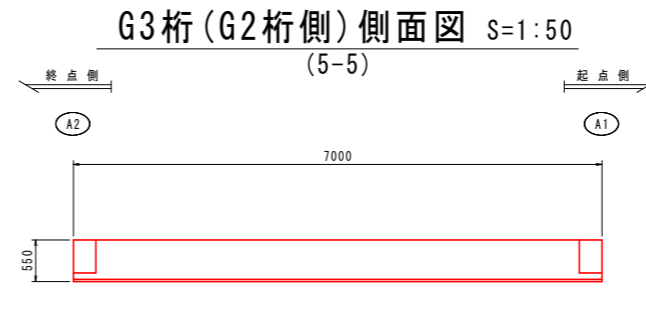
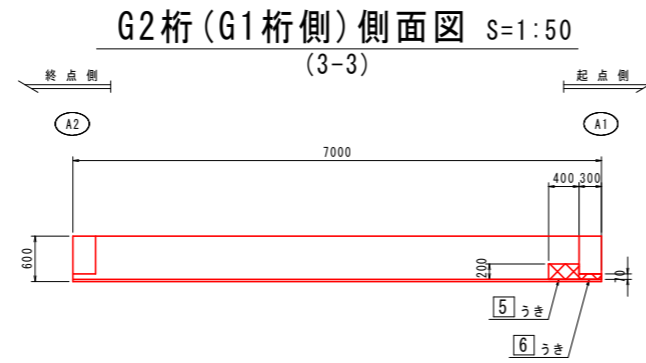
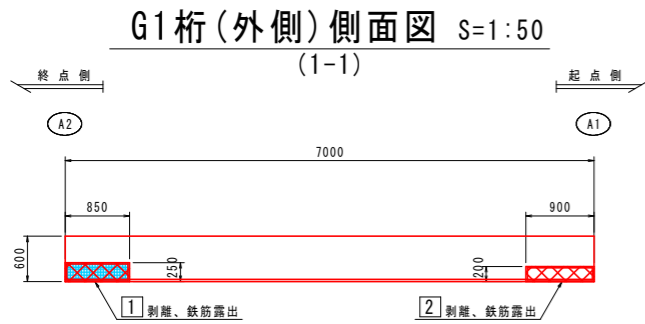


実施設計図面 (桑島橋)

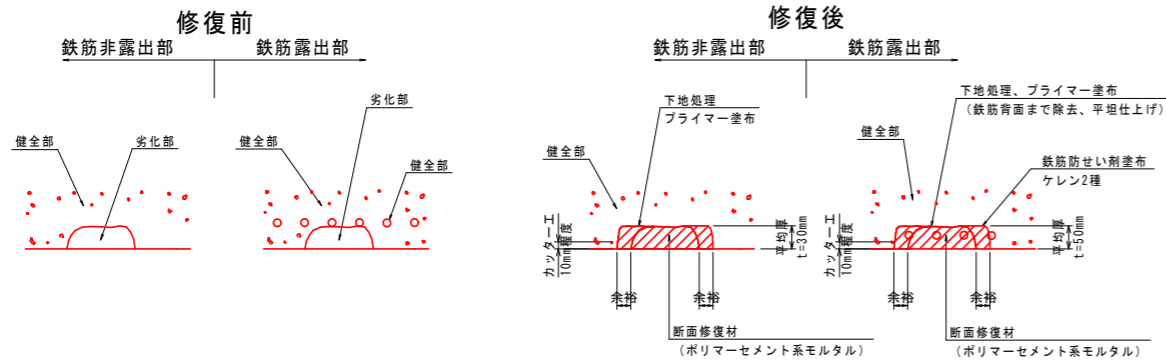
工事名	R3徳土 瀬戸養養線 鳴・無養大桑島橋梁補修工事		
路線名等	瀬戸無養線		
工事箇所	鳴門市無養町大桑島(桑島橋)		
図面名	車道橋 上部工補修図(1/4)		
縮尺	図示	図面番号	3/14
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

車道橋 上部工補修図 (2/4)

(主桁側面その1)

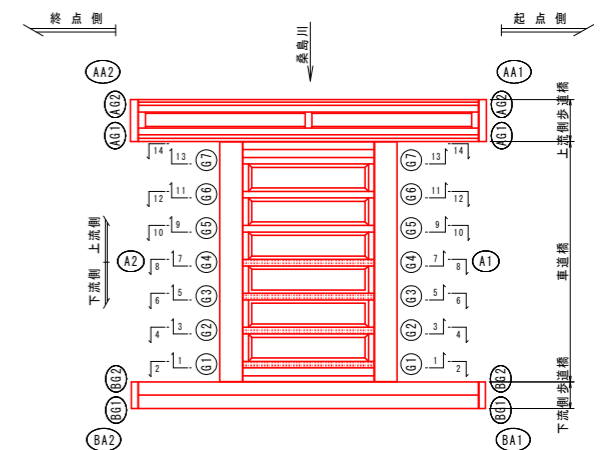


断面修復工 詳細図 S=1:5



注) ・断面修復の断面寸法は、施工にあたり剥離部等を取り除いた後詳細計測を行い決定すること。
 ・はつり範囲に腐食した鉄筋を確認した場合は、鉄筋を露出させて鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
 ・修復断面の周辺に鉄筋腐食や浮きが確認できた場合は、修復範囲を拡大すること。

位置図 S=1:200



断面修復工数量表(左官工法)

番号	B x H	単位	鉄筋非露出部		備考
			数量	数量	
G1主桁					
1	850x250	m2	0.213	-	剥離、鉄筋露出
2	900x200	m2	0.180	-	剥離、鉄筋露出
3	500x200	m2	-	0.100	剥離
4	850x150	m2	0.128	-	剥離、鉄筋露出
G2主桁					
5	400x200	m2	-	0.080	うき
6	300x70	m2	-	0.021	うき
7	650x150	m2	-	0.098	うき、剥離
G3主桁					
8	400x150	m2	-	0.060	うき
9	650x200	m2	-	0.130	うき
10	150x150	m2	-	0.023	仮設跡
11	500x100	m2	-	0.050	豆板
G4主桁					
12	800x100	m2	-	0.080	豆板
13	500x150	m2	-	0.075	豆板
14	150x150	m2	-	0.023	仮設跡
15	300x50	m2	-	0.015	豆板
16	250x200	m2	-	0.050	豆板
17	450x100	m2	-	0.045	豆板
18	400x100	m2	-	0.040	豆板
19	400x100	m2	-	0.040	豆板
20	50x50	m2	0.003	-	鉄筋露出
合計(面積)		m2	0.524	0.930	
合計(体積)		m3	0.026	0.028	
			t=50mm	※t=50mm	※鉄筋はつり出しを基本とする

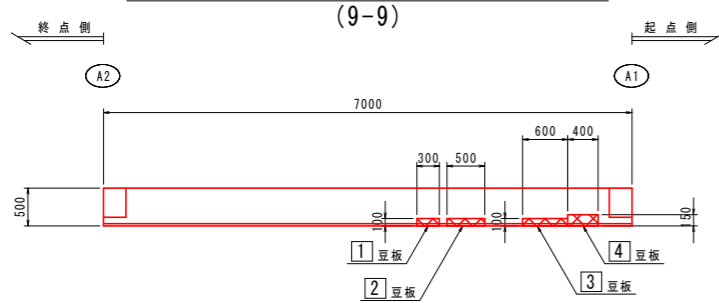
実施設計図面 (桑島橋)

工事名	R3徳土 瀬戸無養線 鳴・無養大桑島橋梁補修工事		
路線名等	瀬戸無養線		
工事箇所	鳴門市無養町大桑島(桑島橋)		
図面名	車道橋 上部工補修図(2/4)		
縮尺	図示	図面番号	4/14
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

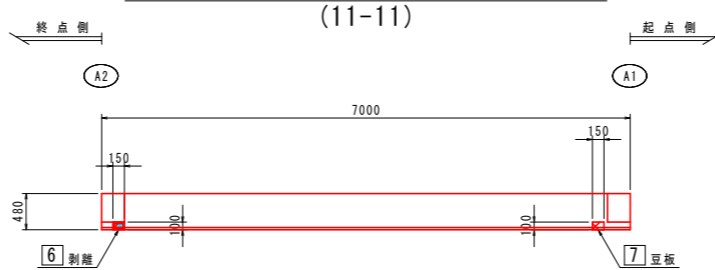
車道橋 上部工補修図 (3/4)

(主桁側面その2)

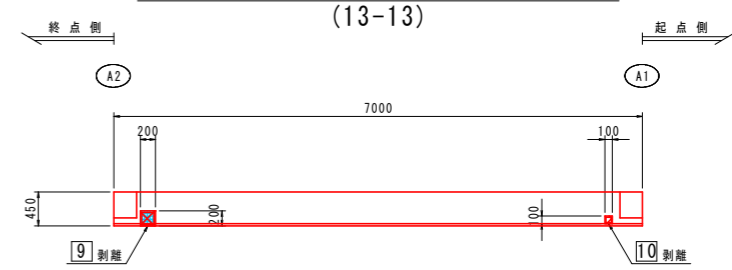
G5桁 (G4桁側) 側面図 S=1:50



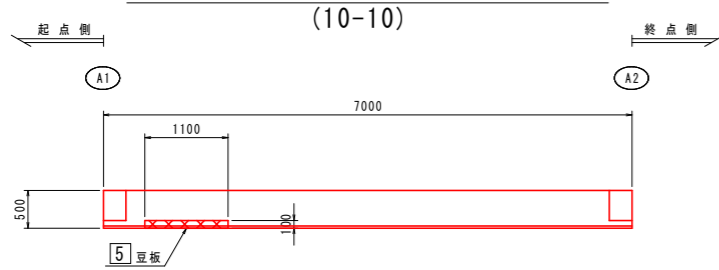
G6桁 (G5桁側) 側面図 S=1:50



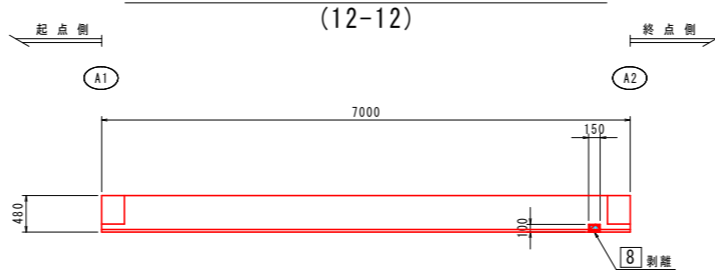
G7桁 (G6桁側) 側面図 S=1:50



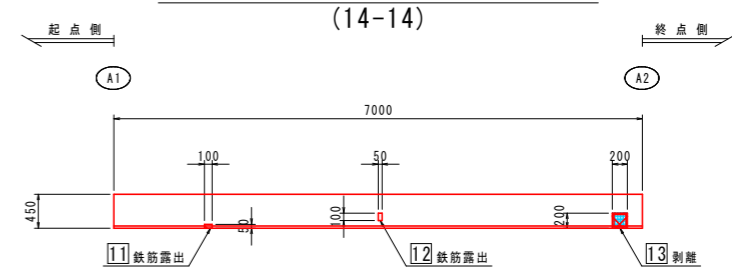
G5桁 (G6桁側) 側面図 S=1:50



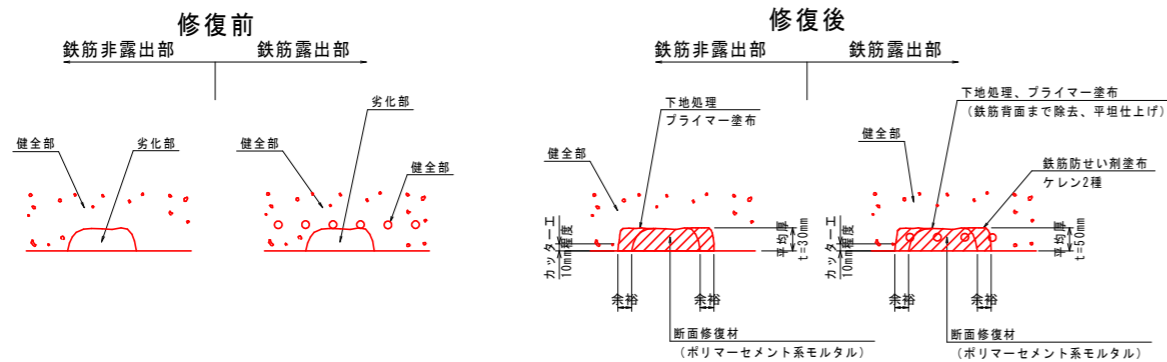
G6桁 (G7桁側) 側面図 S=1:50



G7桁 (外側) 側面図 S=1:50



断面修復工 詳細図 S=1:5

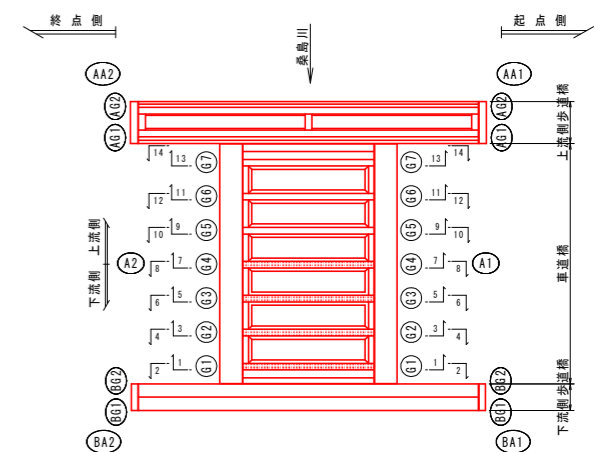


注) ・断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剥離部等を取り除いた後詳細計測を行い決定すること。
 ・はつり範囲に腐食した鉄筋を確認した場合は、鉄筋を露出させて鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
 ・修復断面の周辺に鉄筋腐食や浮きが確認できた場合は、修復範囲を拡大すること。

断面修復工数量表 (左官工法)

番号	B x H	単位	鉄筋露出部		備考
			数量	数量	
G5主桁					
1	300x100	m2	-	0.030	豆板
2	500x100	m2	-	0.050	豆板
3	600x100	m2	-	0.060	豆板
4	400x150	m2	-	0.060	豆板
5	1100x100	m2	-	0.110	豆板
G6主桁					
6	150x100	m2	-	0.015	剥離
7	150x100	m2	-	0.015	豆板
8	150x100	m2	-	0.015	剥離
G7主桁					
9	200x200	m2	-	0.040	剥離
10	100x100	m2	-	0.010	剥離
11	100x50	m2	0.005	-	鉄筋露出
12	50x100	m2	0.005	-	鉄筋露出
13	200x200	m2	-	0.040	剥離
合計 (面積)		m2	0.010	0.445	
合計 (体積)		m3	0.001	0.013	
			t=50mm	※t=50mm	※鉄筋はつり出しを基本とする

位置図 S=1:200



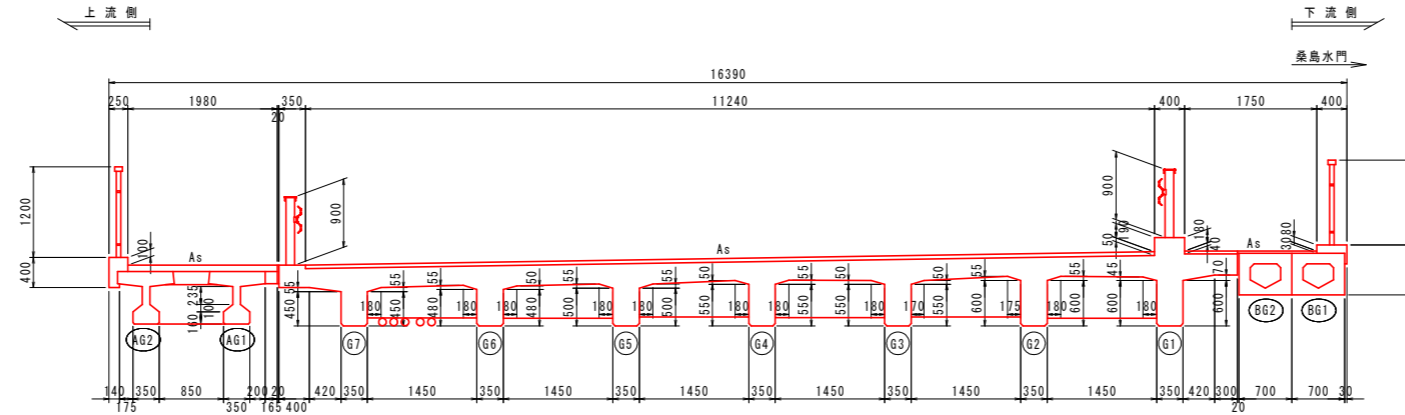
実施設計図面 (桑島橋)

工事名	R3徳土 瀬戸無養線 鳴・無養大桑島橋梁補修工事		
路線名等	瀬戸無養線		
工事箇所	鳴門市無養町大桑島 (桑島橋)		
図面名	車道橋 上部工補修図 (3/4)		
縮尺	図示	図面番号	5/14
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

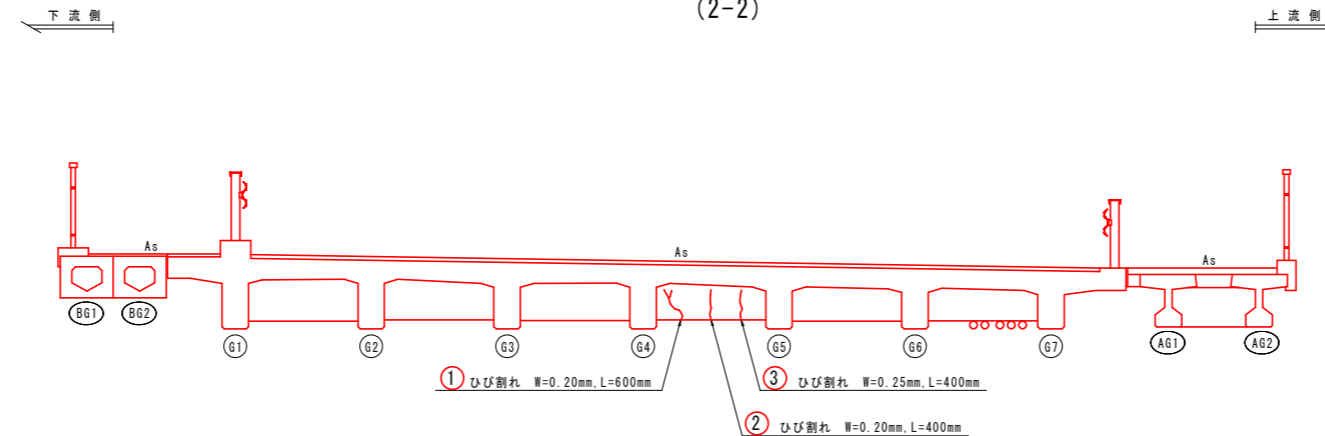
車道橋 上部工補修図(4/4)

(横桁)

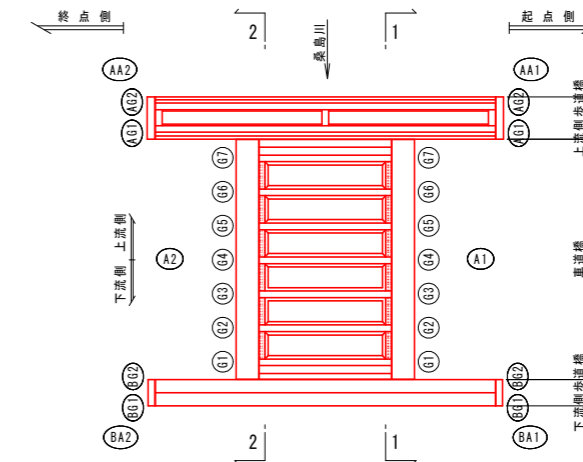
起点側 端横桁正面図 S=1:50
(1-1)



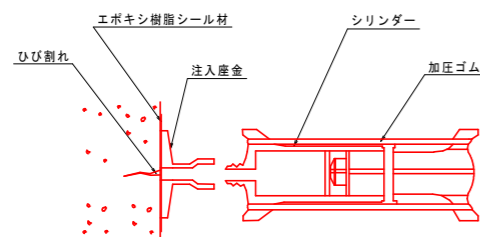
終点側 端横桁正面図 S=1:50
(2-2)



位置図 S=1:200



ひび割れ注入工詳細図



ひび割れ注入工 単位数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要
シール材	エポキシ樹脂系	kg	1.02	
注入材	エポキシ樹脂系	0.2mm以上～0.5mm未満	0.06	ひび割れ幅: 0.20mm 深さ50mmに仮定
			0.08	ひび割れ幅: 0.25mm 深さ50mmに仮定
注入器具	40cm間隔	個	25.0	

注) ・ひび割れ注入工の施工範囲は、施工前に詳細計測を実施し決定すること。
 ・ひび割れ注入工の注入深さは、現地目視点検により50mmと仮定している。
 ・詳細な注入深さは現地計測により決定すること。
 ・シール材の断面は、幅30mm×厚さ2mmと仮定している。
 ・シール材の単位重量は $\gamma=1.700\text{kg/m}^3$ と仮定している。
 ・シール材はロス率を考慮していない数量である。
 ・注入剤はロス率を10%と仮定している。

ひび割れ注入工数量表

番号	単位	数量	
		0.2mm以上～0.5mm未満	ひび割れ幅 (mm)
終点側 端横桁			
①	m	0.60	0.20
②	m	0.40	0.20
③	m	0.40	0.25
合計	m	1.40	

実施設計図面 (桑島橋)

工事名	R3徳土 瀬戸撫養線 鳴・撫養大桑島橋梁補修工事		
路線名等	瀬戸撫養線		
工事箇所	鳴門市撫養町大桑島(桑島橋)		
図面名	車道橋 上部工補修図(4/4)		
縮尺	図示	図面番号	6/14
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

車道橋 下部工補修図 (2/2)

(A2橋台)

充てん工手順図

1. 現状

ひび割れ

ひび割れ
・ひび割れ幅0.50mm以上
・遊離石灰を伴うもの

**2. ひび割れ面のカット
プライマー塗布**

15
10

ピッド等にてひび割れ部のコンクリート表面をカットする。
カットする幅、深さともに10~50mm程度とする。

3. 清掃、プライマー塗布

プライマー塗布

4. ポリマーセメントモルタル充てん

ポリマーセメントモルタル

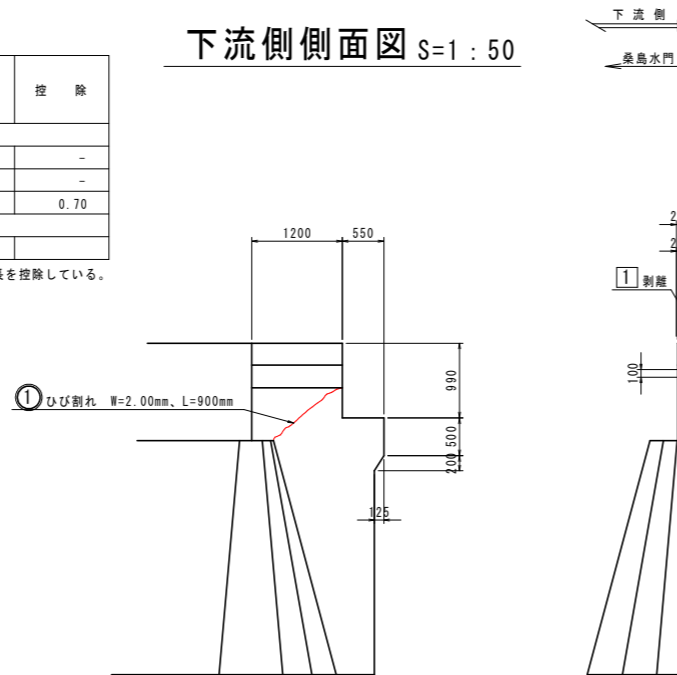
ポリマーセメントモルタルにて被覆する。

充てん工数量表

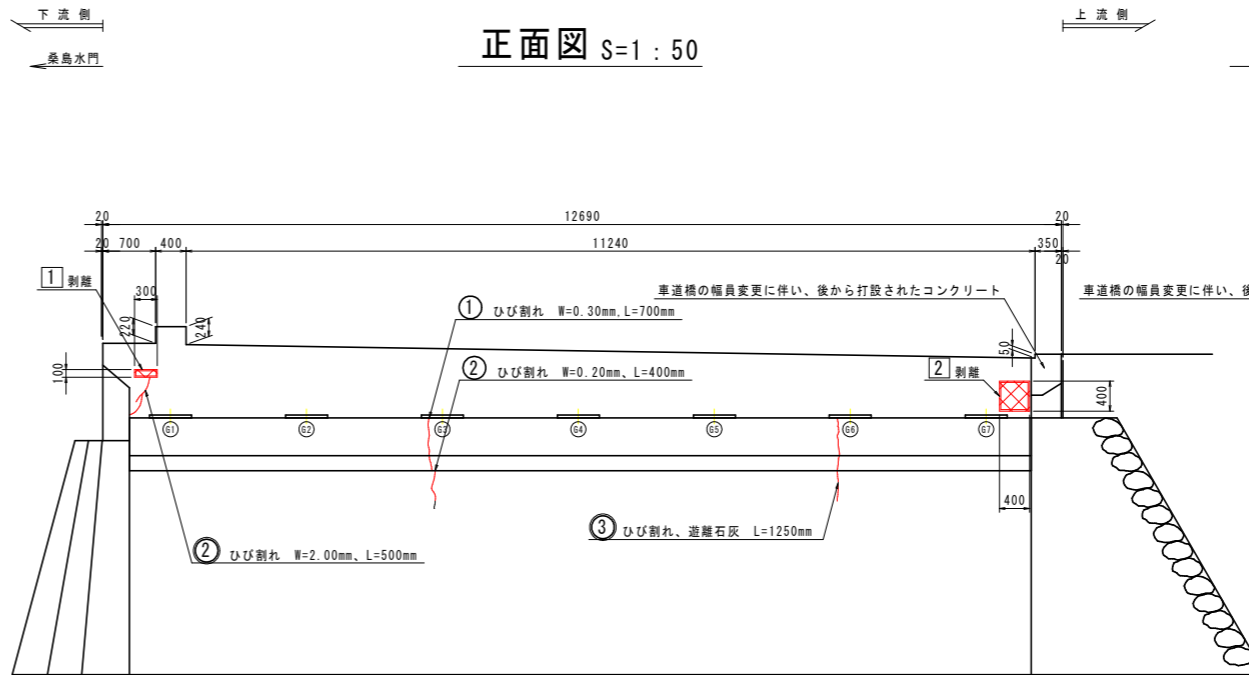
番号	単位	数量	備考	控除
A2橋台				
①	m	0.90		-
②	m	0.50		-
③	m	0.55		0.70
合計	m	1.95		

※沓座拡幅工の影響範囲となる箇所は、延長を控除している。

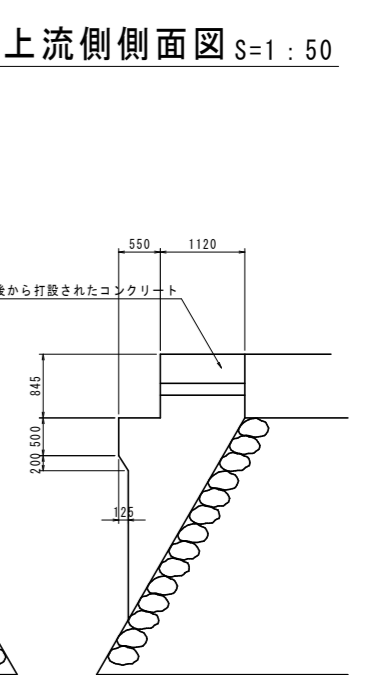
下流側側面図 S=1:50



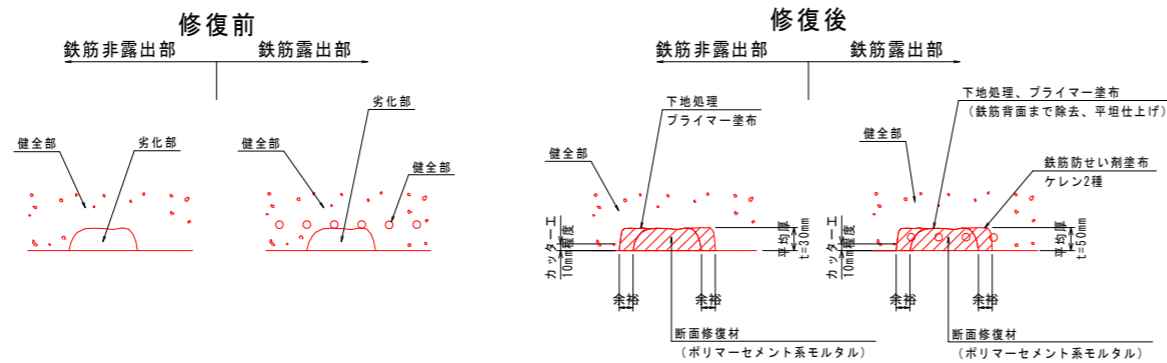
正面図 S=1:50



上流側側面図 S=1:50



断面修復工 詳細図 S=1:5

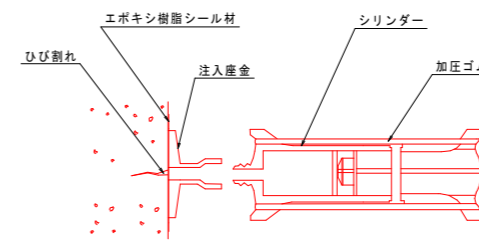


断面修復工数量表

番号	B x H	単位	鉄筋露出部		鉄筋非露出部		備考
			数量	数量	数量	数量	
A2橋台							
①	300x100	m ²	-	0.030			剥離
②	400x400	m ²	-	0.160			剥離
合計(面積)		m ²	-	0.190			
合計(体積)		m ³	-	0.010			
				t=50mm			鉄筋はつり出しを基本とする

注) ・断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剥離部等を取り除いた後詳細計測を行い決定すること。
・はつり範囲に腐食した鉄筋を確認した場合は、鉄筋を露出させて鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
・修復断面の周辺に鉄筋腐食や浮きが確認できた場合は、修復範囲を拡大すること。

ひび割れ注入工詳細図



ひび割れ注入工 単位数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要
シール材	エポキシ樹脂系	kg	1.02	
注入材	エポキシ樹脂系	0.2mm以上~0.5mm未満	0.51	ひび割れ幅: 0.20mm 深さ200mmに仮定
			0.76	ひび割れ幅: 0.30mm 深さ200mmに仮定
注入器具	40cm間隔	個	25.0	

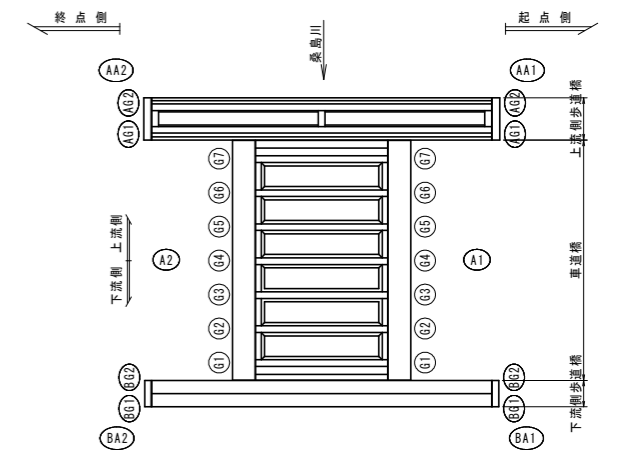
注) ・ひび割れ注入工の施工範囲は、施工前に詳細計測を実施し決定すること。
・ひび割れ注入工の注入深さは、現地目視点検により200mmと仮定している。
・詳細な注入深さは現地計測により決定すること。
・シール材の断面は、幅30mmX厚さ2mmと仮定している。
・シール材の単位重量はW=1.700kg/m³と仮定している。
・シール材はロス率を考慮していない数量である。
・注入材はロス率を10%と仮定している。

ひび割れ注入工数量表

番号	単位	数量		控除
		0.2mm以上~0.5mm未満	ひび割れ幅 (mm)	
A2橋台				
①	m	0.00	0.30	全長控除
②	m	0.40	0.20	-
合計	m	0.40		

※沓座拡幅工の影響範囲となる箇所は、延長を控除している。

位置図 S=1:200



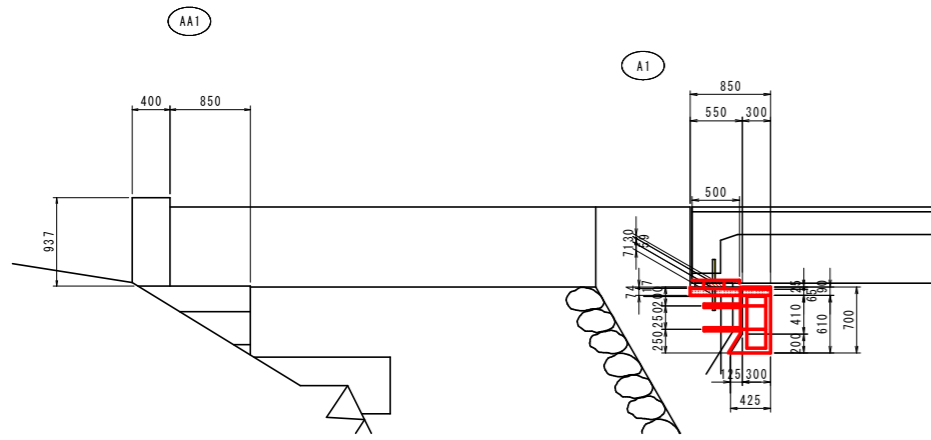
実施設計図面

(桑島橋)

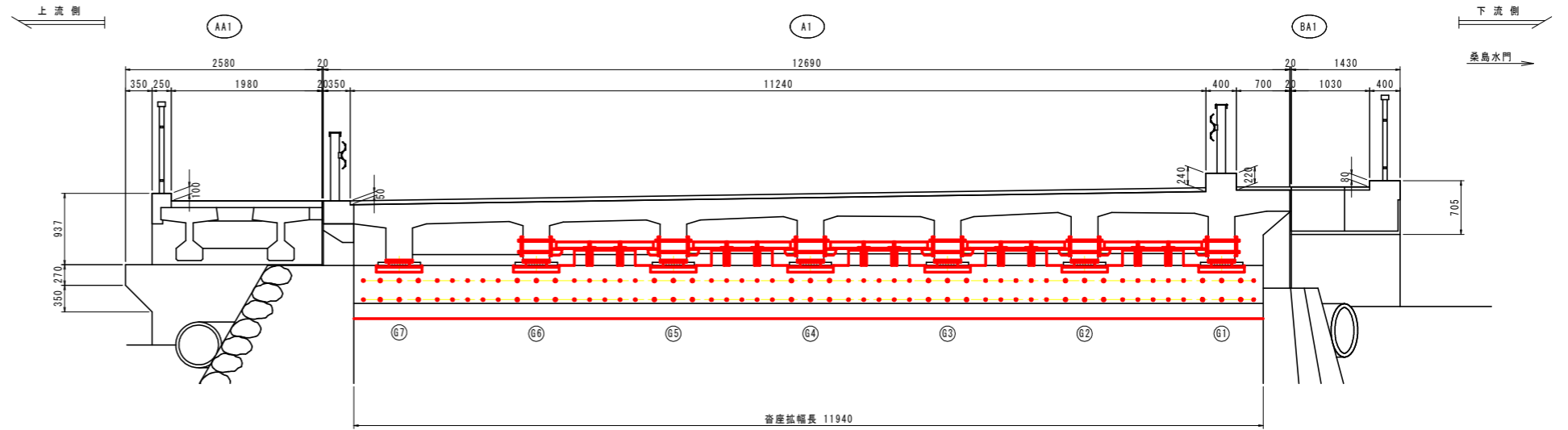
工事名	R3徳土 瀬戸舞養線 鳴・舞養大桑島橋梁補修工事		
路線名等	瀬戸舞養線		
工事箇所	鳴門市舞養町大桑島 (桑島橋)		
図面名	車道橋 下部工補修図 (A2橋台)		
縮尺	図示	図面番号	7/14
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

支承補修図(1/3)

上流側側面図 S=1:40



正面図 S=1:40



詳細図 S=1:20

ゴムパッド沓詳細図 S=1:20

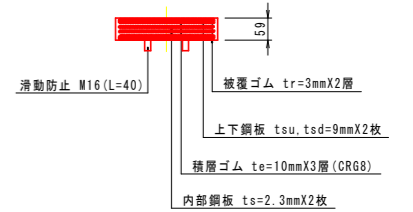
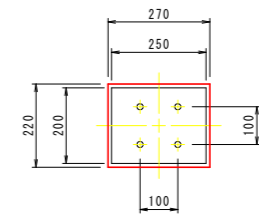
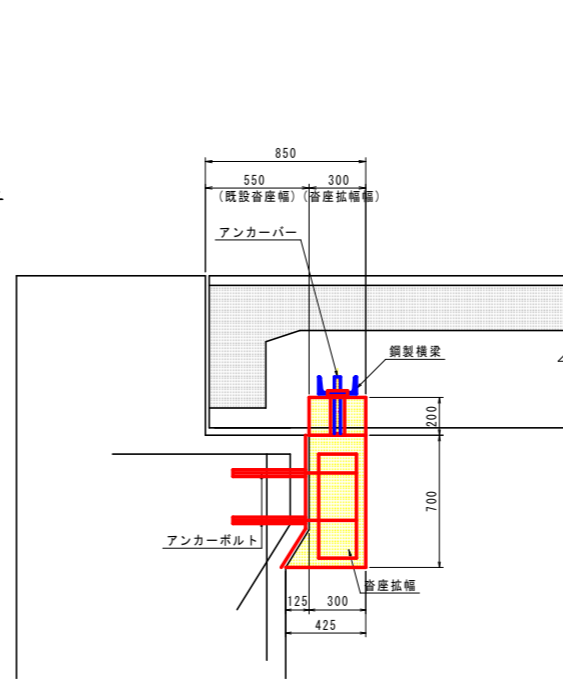
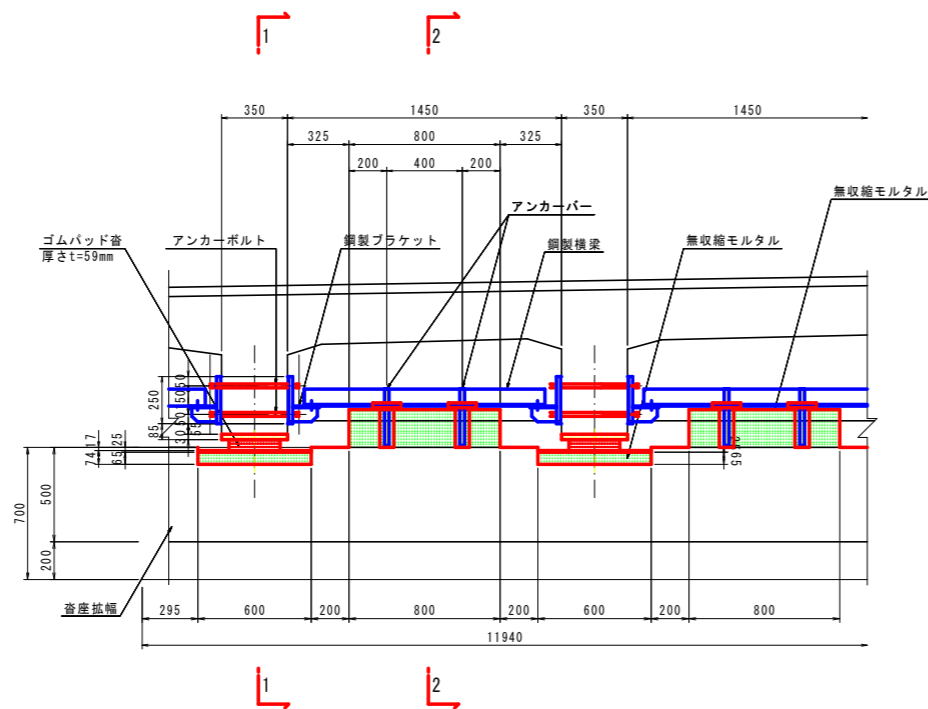
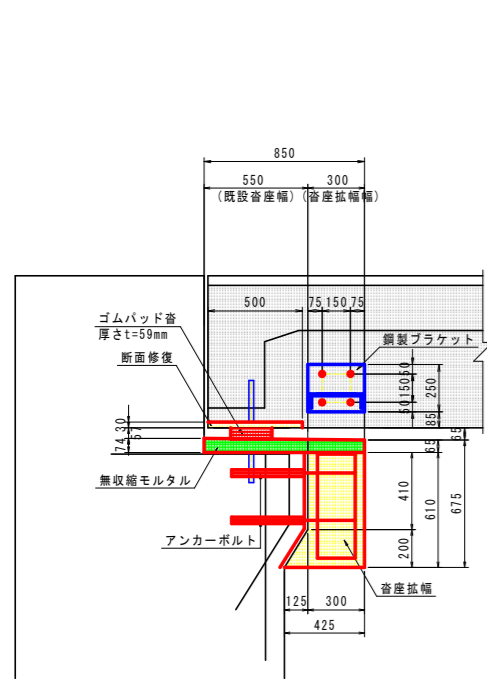
1-1断面図

正面図

2-2断面図

平面図

断面図

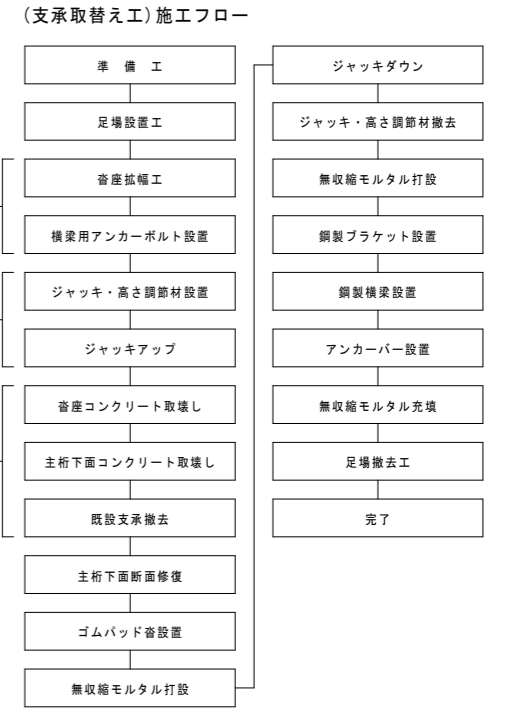
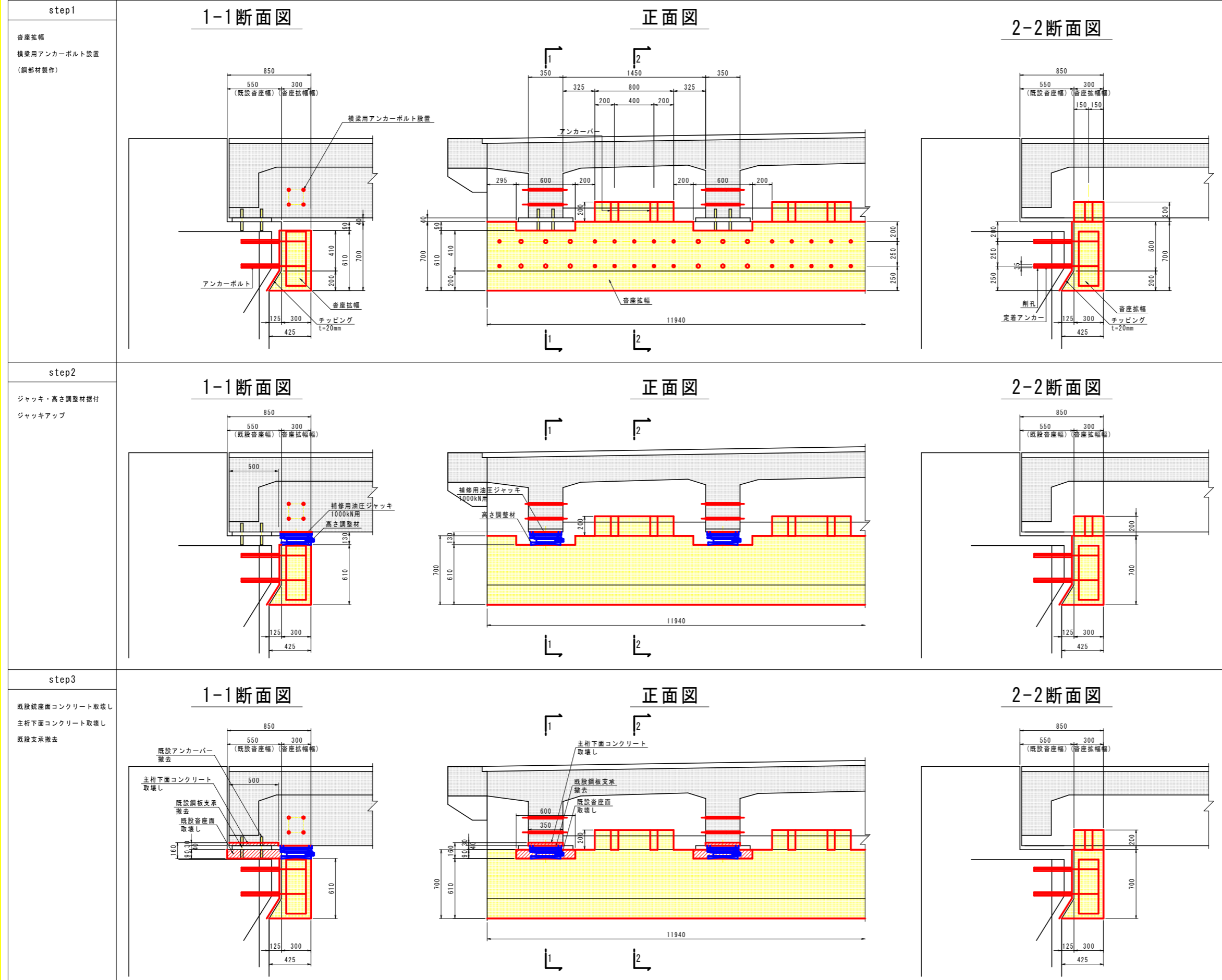


実施設計図面 (桑島橋)

工事名	R3徳土 瀬戸無養線 鳴・無養大桑島橋梁補修工事		
路線名等	瀬戸無養線		
工事箇所	鳴門市無養町大桑島 (桑島橋)		
図面名	支承補修図(1/3)		
縮尺	図示	図面番号	8/14
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

支承補修図(2/3)

施工手順図(その1)



【注意事項】

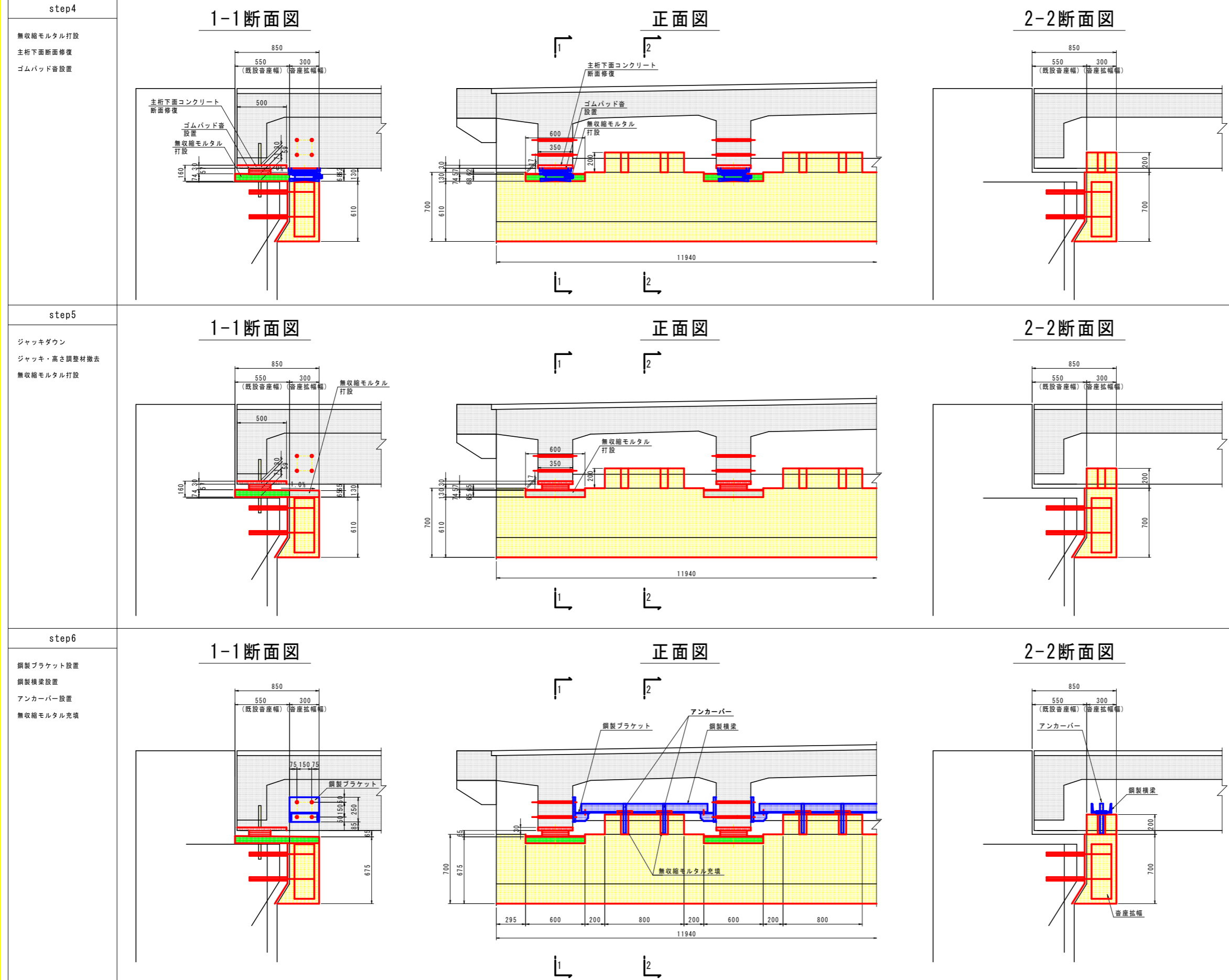
- ・A2橋台はA1橋台と同様に施工すること。
- ・鋼部材の製作は、主桁側面の削孔およびアンカーボルト定着後に行うこと。
- ・既設アンカーバーは露出した範囲を切断し、撤去する。
- ・既設コンクリート削孔時は、既設鉄筋を切断しないよう十分注意すること。

実施設計図面 (桑島橋)

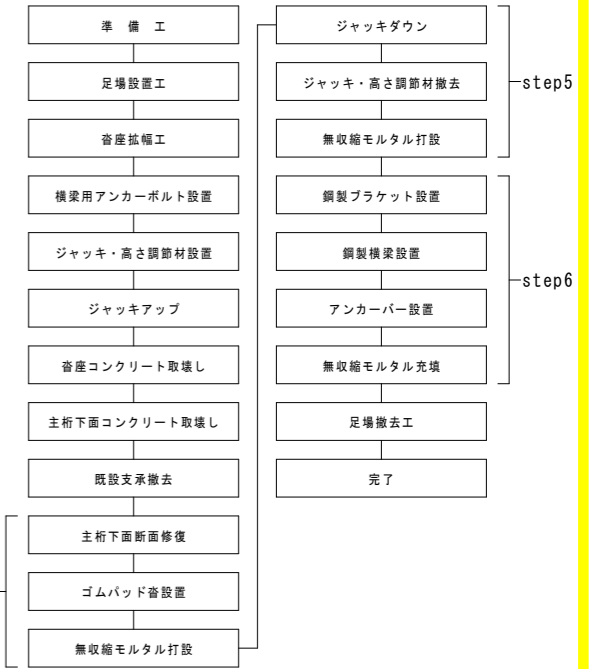
工事名	R3徳土 瀬戸無養線 鳴・無養大桑島橋梁補修工事		
路線名等	瀬戸無養線		
工事箇所	鳴門市無養町大桑島 (桑島橋)		
図面名	支承補修図(2/3)		
縮尺	図示	図面番号	9/14
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

支承補修図(3/3)

施工手順図(その2)



(支取替え工) 施工フロー



【注意事項】

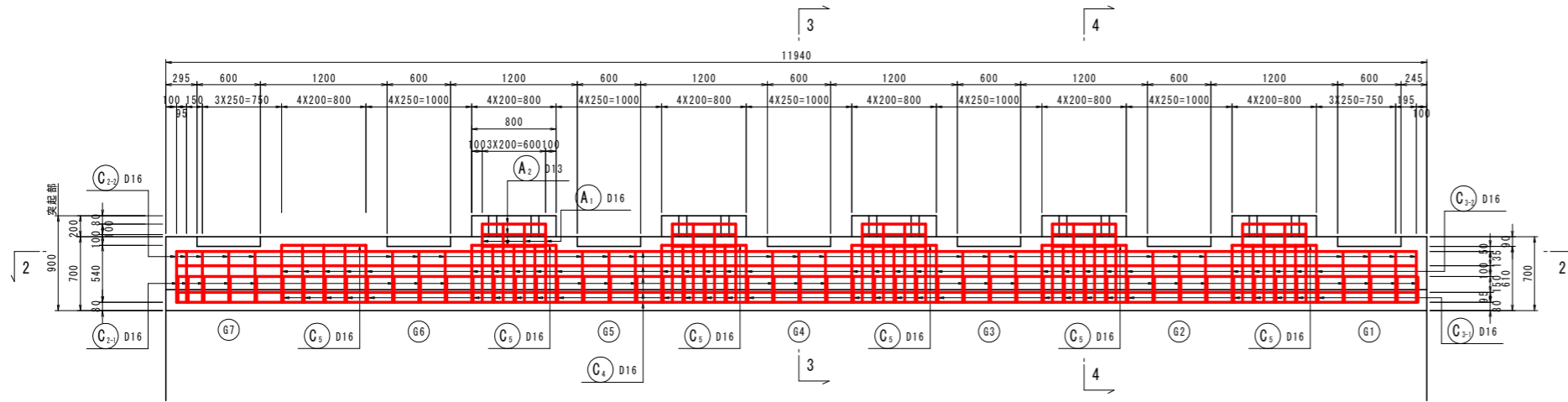
- ・A2橋台はA1橋台と同様に施工すること。
- ・step4のモルタル打設時、型枠を設置するスペースが確保できない場合は、型枠を橋台側へ寄せて設置可能な位置に設置すること。
- ・無収縮モルタルは、音産前面に向かって1.0%の勾配で下げて打設すること。
- ・無収縮モルタルの打設は、ゴムパッド音産下面を水平とし、その前後を擦り付けて施工すること。
- ・既設コンクリート削孔時は、既設鉄筋を切断しないよう十分注意すること。

実施設計図面 (桑島橋)

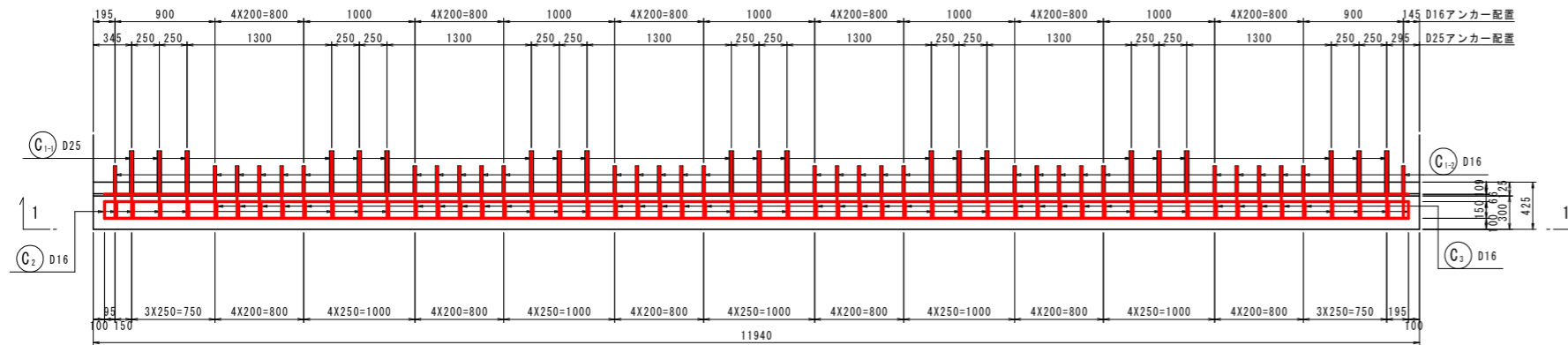
工事名	R3徳土 瀬戸舞養線 鳴・舞養大桑島橋梁補修工事		
路線名等	瀬戸舞養線		
工事箇所	鳴門市舞養町大桑島(桑島橋)		
図面名	支承補修図(3/3)		
縮尺	図示	図面番号	10/14
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

脊座拡幅配筋図(1/2) S=1:30 (A1・A2共通：A2は反転)

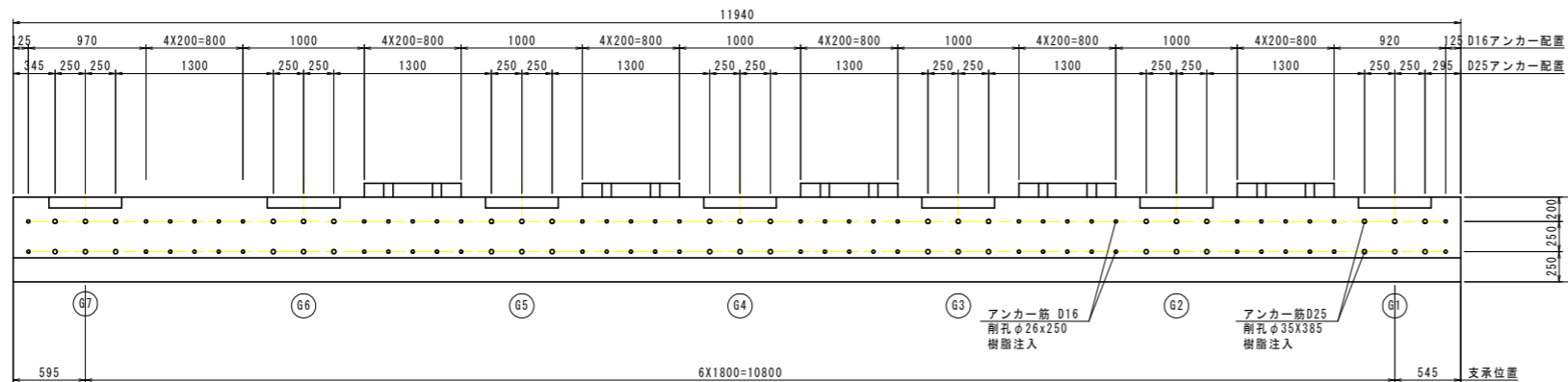
1-1
(正面図)



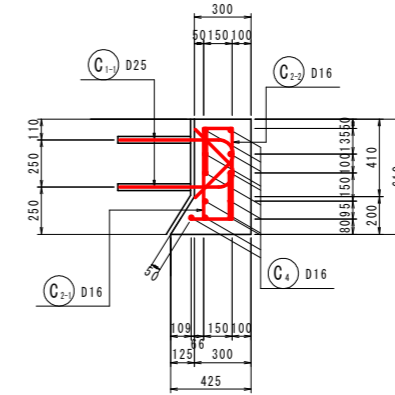
2-2
(平面図)



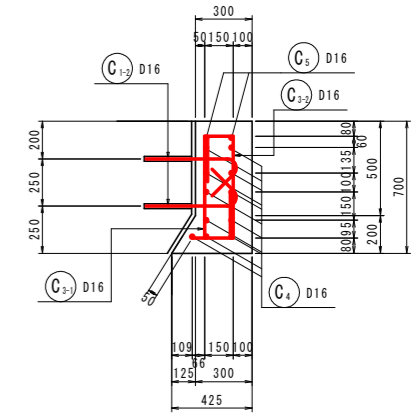
アンカー削孔位置
(正面図)



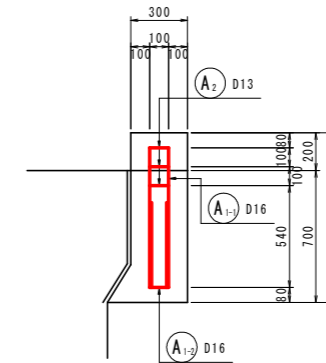
3-3
(断面図)



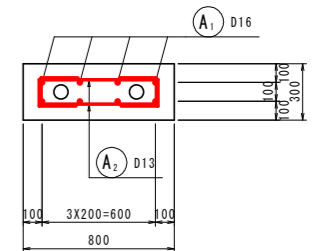
4-4
(断面図)



4'-4'
(突起部)



突起部平面図



※ 突起の配筋はすべて共通とする。

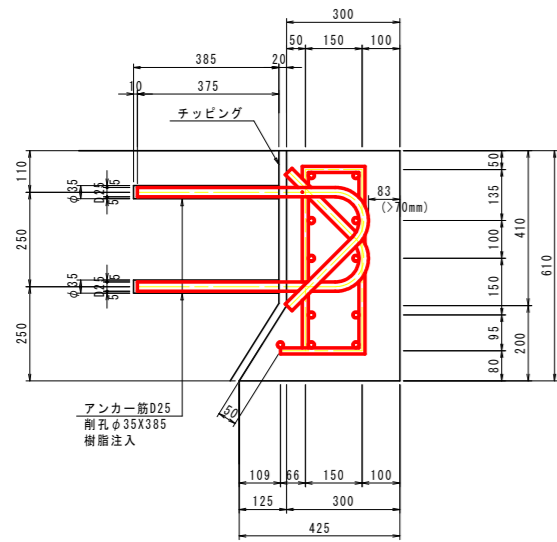
※ 当図面はA1橋台正面から見た図面である。
A2橋台においては左右反転した配置とすること。

実施設計図面		(桑島橋)	
工事名	R3徳土 瀬戸養老線 鳴・撫美大桑島橋梁補修工事	路線名等	瀬戸養老線
工事箇所	鳴門市撫美町大桑島(桑島橋)	図面名	脊座拡幅配筋図(1/2)
縮尺	図示	図面番号	11/14
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

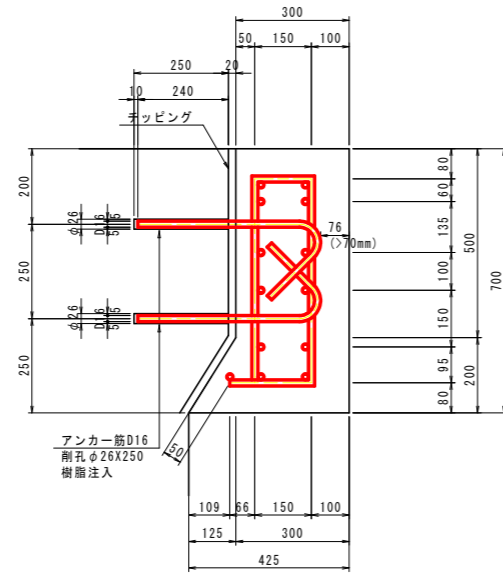
脊座拡幅配筋図(2/2) S=1:30

(A1・A2共通：A2は反転)

かぶり詳細図 S=1:10

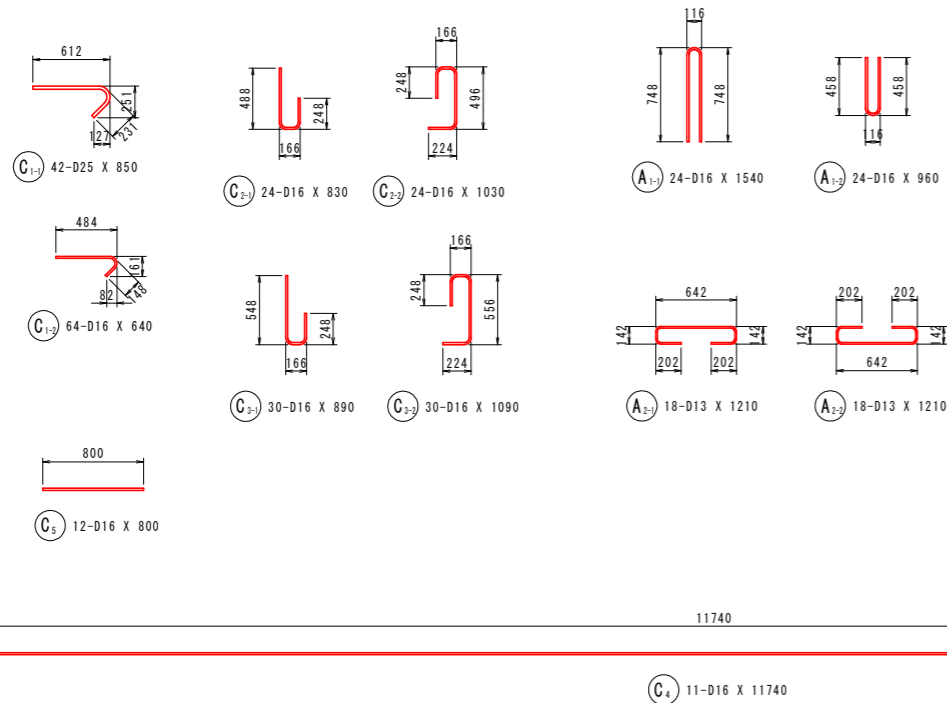


かぶり詳細図 S=1:10



鉄筋質量表 (SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
A 1-1	D16	1540	20	1.56	2.40	48	I	
A 1-2	D16	960	20	1.56	1.50	30	II	
A 2-1	D13	1210	15	0.995	1.20	18	III	
A 2-2	D13	1210	15	0.995	1.20	18	III	
							114	
C 1-1	D25	850	42	3.98	3.38	142	IV	
C 1-2	D16	640	64	1.56	1.00	64	V	
C 2-1	D16	830	24	1.56	1.29	31	VI	
C 2-2	D16	1030	24	1.56	1.61	39	VII	
C 3-1	D16	890	30	1.56	1.39	42	VIII	
C 3-2	D16	1090	30	1.56	1.70	51	VIII	
C 4	D16	11740	11	1.56	18.31	201	IX	
C 5	D16	800	12	1.56	1.25	15	X	
							585	
合計 D25						142 kg		
D16						521 kg		
D13						36 kg		
総質量						699 kg		



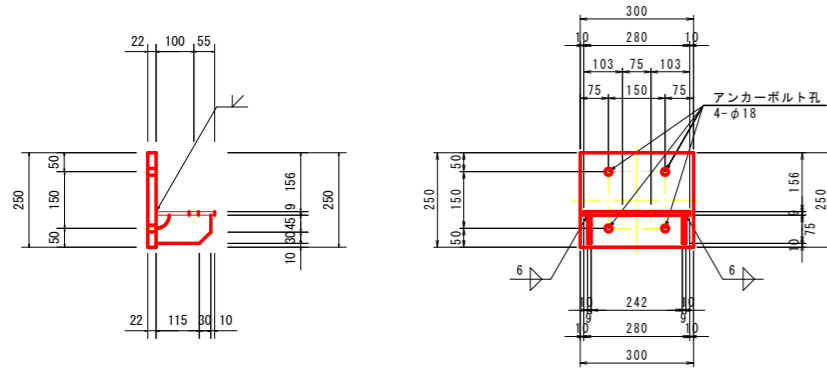
※ 鉄筋の曲げ加工法は、2009年改訂版「土木製図基準」に準拠する。

実施設計図面		(桑島橋)
工事名	R3徳土 瀬戸橋養護線 鳴・撫養大桑島橋梁補修工事	
路線名等	瀬戸撫養線	
工事箇所	鳴門市撫養町大桑島 (桑島橋)	
図面名	脊座拡幅配筋図(2/2)	
縮尺	図示	図面番号 12/14
会社名		
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)	

車道橋 支承固定機能装置詳細図

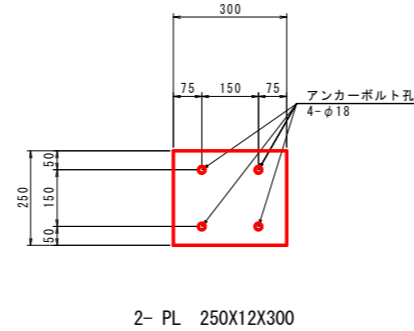
鋼製ブラケットA S=1:10

(製作数 : N=10基)



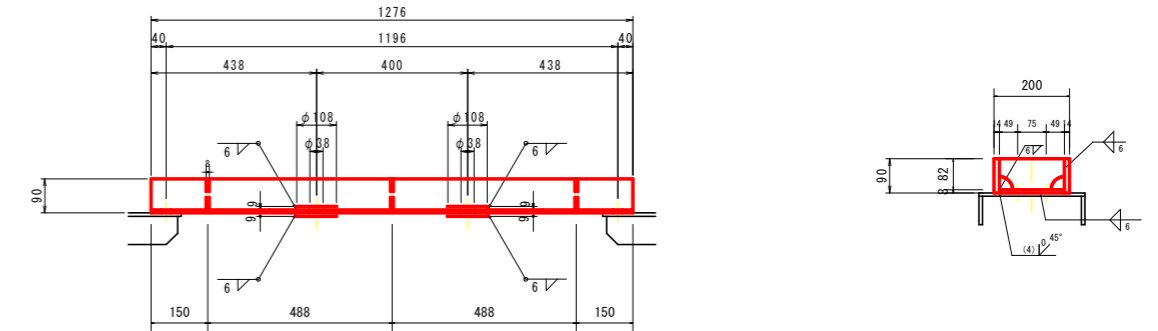
鋼製ブラケットB S=1:10

(製作数 : N=2基)



鋼製横梁 S=1:10

(製作数 : N=5基)



鋼製横梁 1基当たり材料

- 2 - Flg PL 1276×14×90
- 1 - Web PL 1276×8×172
- 3 - Rib PL 172×8×82
- 4 - Ring PL 108×9×108

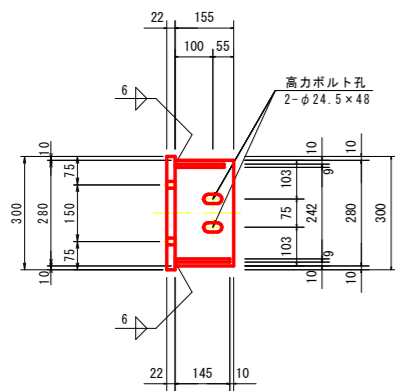
鋼製ブラケット 1基当たり材料

- 1-Base PL 250×22×300
- 1-Guss PL 155×9×280
- 2-Rib PL 145×9×75
- 2-HTB M22X60 (F8T)

アンカーボルト部詳細

S=1:15

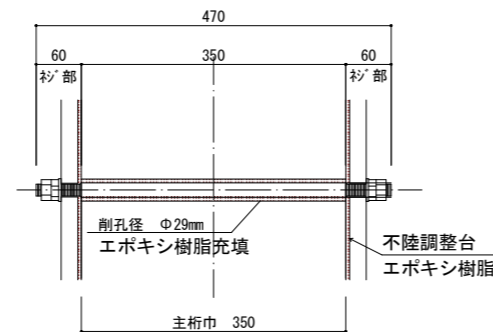
(全数 : N=10本)



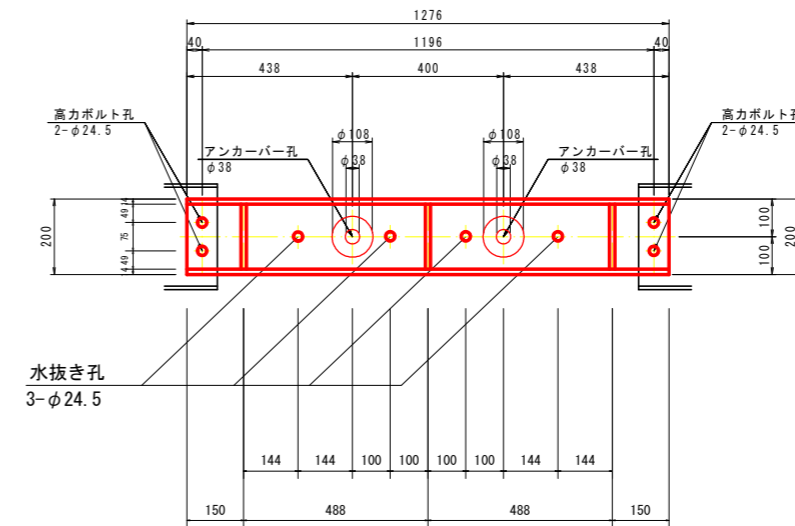
アンカーボルト詳細

S=1:5

(全数 : N=24本)



- 24-Anc D19X470(頭部60mm M16ねじ切り加工) (SD345)
- 48-Nut M16用(1種) (SS400)
- 48-Nut M16用(3種) (SS400)
- 48-座金 M16用 (SS400)



※特記なき材質は、SM400Aとする。
 ※特記なきスカーラップは、R=35とする。
 ※鋼材は溶融亜鉛メッキを施す。
 ナット・ワッシャーとアンカーボルトはHDZ35とし、
 その他の鋼材はHDZ55とする。
 ※摩擦接合面は、メッキを除去すること。

実施設計図面 (桑島橋)

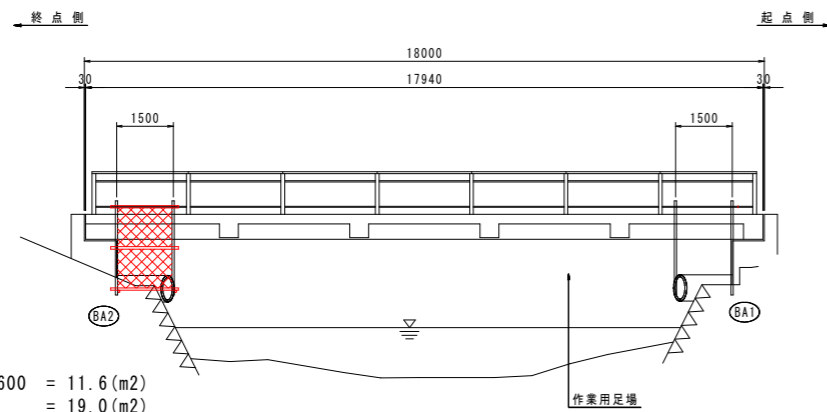
工事名	R3徳土 瀬戸無養線 鳴・無養大桑島 橋梁補修工事		
路線名等	瀬戸無養線		
工事箇所	鳴門市無養町大桑島 (桑島橋)		
図面名	車道橋 支承固定機能装置詳細図		
縮尺	図示	図面番号	13/14
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

※コンクリート削孔位置は鉄筋探査(RCレーダー)を行い、既設鉄筋を切断しないよう決定すること。
 ※削孔位置を変更する場合は、決定した削孔位置にて協議(設計検証等)を必ず行うこと。
 ※鋼製ブラケットおよび鋼製横梁の製作は、削孔およびアンカーボルト定着後に、削孔位置、
 桁間隔、新設台座コンクリート出来型等を実測の上行うこと。

施工計画図(1/2)

(床版・主桁・下部工補修工・沓座拡幅工)

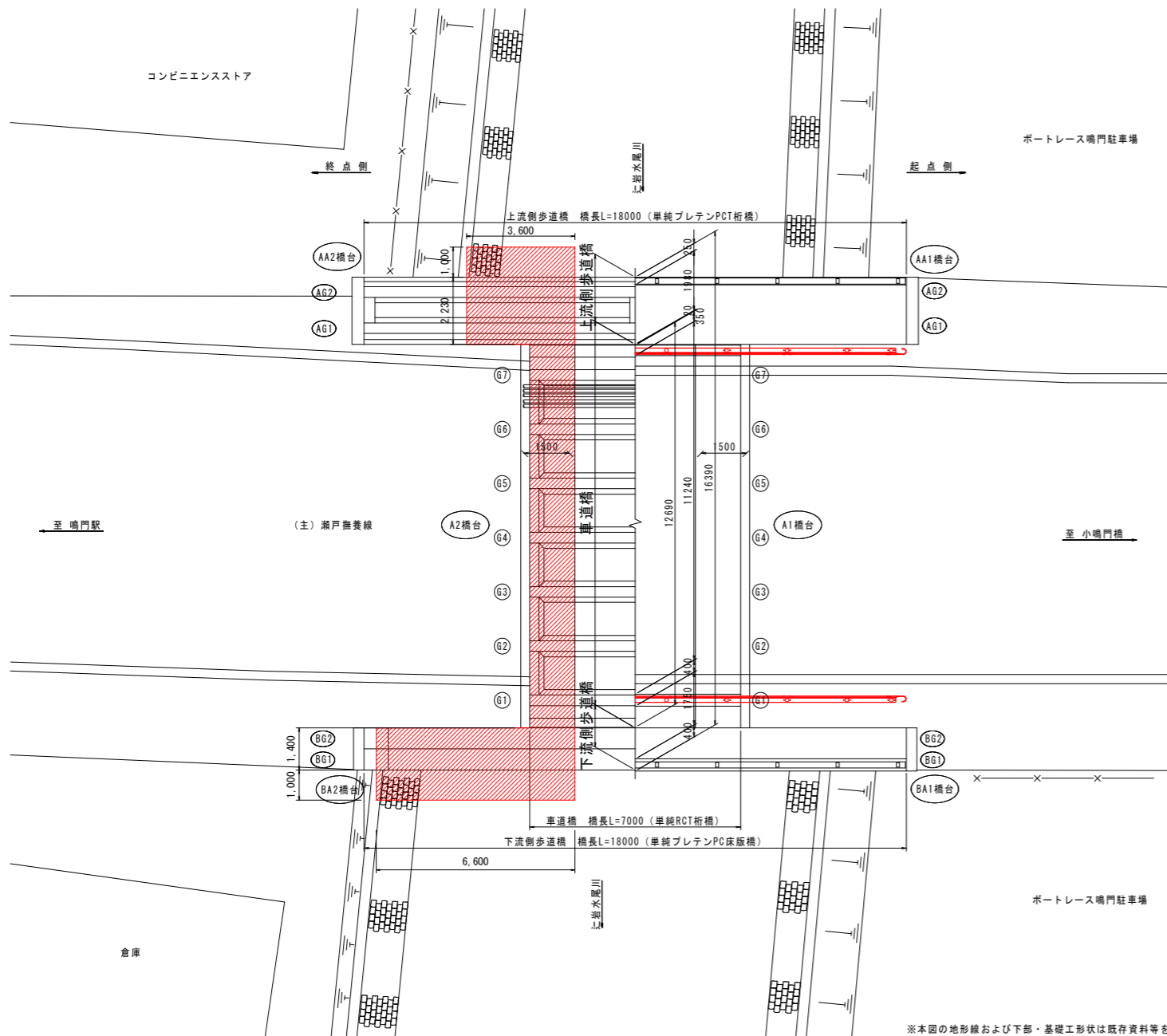
側面図 S=1:100



- 足場工面積
- 1. 上流側 (1.980+0.250+1.000)*3.600 = 11.6(m²)
 - 2. 車道部 12.690*1.500 = 19.0(m²)
 - 3. 下流側 (1.400+1.000)*6.600 = 15.8(m²)

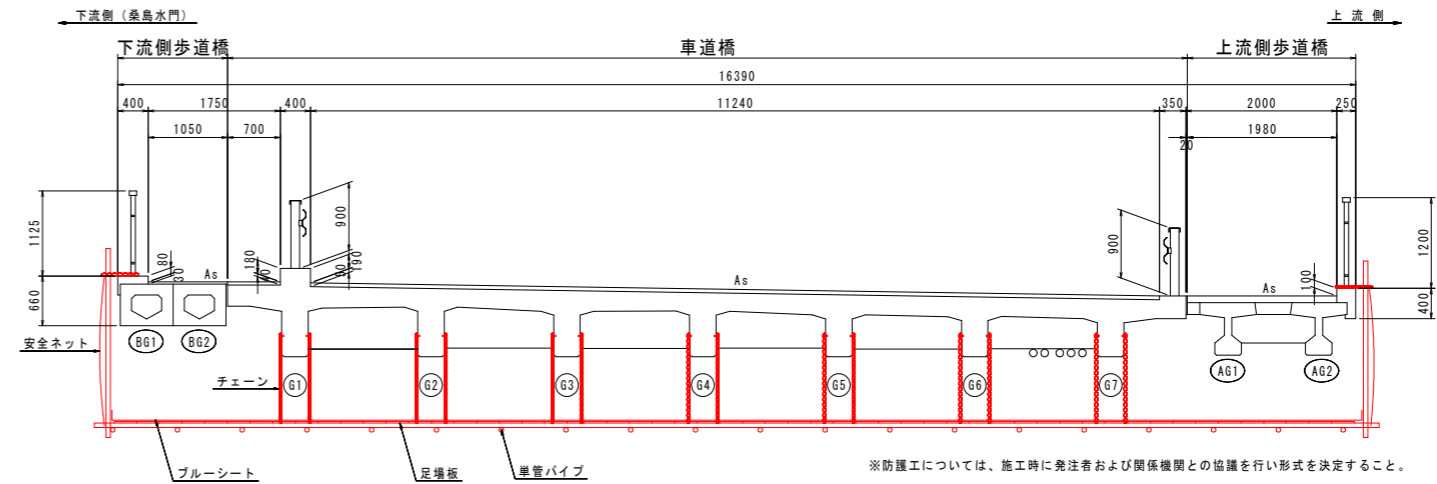
合計= 46.4(m²)

平面図 S=1:100



※本図の地形線および下部・基礎工形状は既存資料等を基に作図している。

断面図 S=1:50



※防護工については、施工時に発注者および関係機関との協議を行い形式を決定すること。

(沓座拡幅工) 作業フロー

- 準備工
- 足場設置工
- 鉄筋探査工
- チッピング工
- 削孔工
- アンカー工
- 鉄筋工
- 型枠・支保工設置
- コンクリート工
- 養生
- 型枠・支保工撤去
- 支保取替え工 (ゴムパッド番設置工)
- 無収縮モルタル型枠工
- 無収縮モルタル打設工
- 養生
- 無収縮モルタル型枠撤去
- 支保取替え工 (鋼製横架設置工)
- 足場撤去工
- 後片付け

(ひびわれ注入工) 作業フロー

- 準備工
- 足場設置工
- 表面処理
- 注入パイプ取付け
- シール材の塗布
- ゴム注入器の取付け
- 注入
- 養生・仕上げ
- 足場撤去工
- 後片付け

(ひびわれ充填工) 作業フロー

- 準備工
- 足場設置工
- ひびわれ面のUカット
- 清掃
- プライマー
- 充てん
- 養生
- 足場撤去工
- 後片付け

(断面修復工) 作業フロー

- 準備工
- 足場設置工
- カッター工
- はつり工
- プラスト及び鉄筋剥離
- 防錆処理
- プライマー
- 断面修復工
- 足場撤去工
- 後片付け

工事工程表

工種	1ヶ月		2ヶ月		3ヶ月		4ヶ月		5ヶ月		6ヶ月		7ヶ月		8ヶ月			
	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30
準備工																		
足場設置工																		
断面修復工																		
ひびわれ注入工																		
ひびわれ充填工																		
沓座拡幅工																		
支保取替え工																		
足場撤去工																		
後片付け																		
河川内施工																		

実施設計図面

工事名	R3徳土 瀬戸無養線 鳴・無養大桑島橋梁補修工事		
路線名等	瀬戸無養線		
工事箇所	鳴門市無養町大桑島(桑島橋)		
図面名	施工計画図		
縮尺	図示	図面番号	14/14
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

(桑島橋)